

あさお 一郎

活動レポート Keiichirou

2018年3月号 No.275

The改革。

私たちは進み続けます。

あさお慶一郎(本人)が
発信しています!

 **twitter**
http://twitter.com/asao_keiichiro

 **facebook**
<http://facebook.com/asao.keiichiro>

皆様からの  いいね! をお待ちしております!

profile

昭和39年2月11日生まれ
栄光学園高校、東京大学法学部卒業
日本興業銀行出身、証券アナリスト
米スタンフォード大学経営大学院 (MBA)
修了

平成10年 参議院議員選挙初当選
平成16年 参議院議員選挙当選(2期目)
平成21年 衆議院議員選挙初当選
平成24年 衆議院議員選挙当選(2期目)
平成26年 衆議院議員選挙当選(3期目)

今月の提言

トランプ大統領の演説を聞いて

National Prayers BreakfastTMに参加して

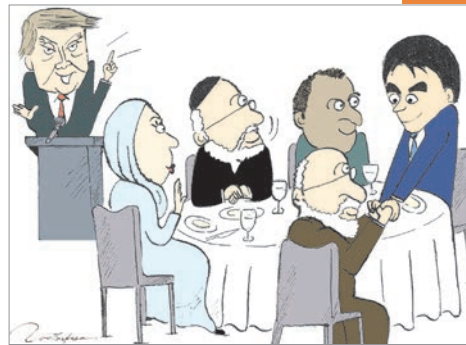
2月の初旬、米国・ワシントンで行われたNational Prayers Breakfast (全米朝食祈りの会) という朝食会に参加してきました。朝食会にはトランプ大統領も参加されました。この朝食会は今年が66回目。アイゼンハワー大統領が出席して以来、米国大統領が毎年参加するという権威のあるもので、キリスト教徒、ユダヤ教徒、仏教徒、イスラム教徒など、宗教や政治の立場を超えて集い、相互理解を目的に世界から多種多様な人材が集まりました。

様々な新たな発見

今回の出張で、色々な新たな発見がありました。空港とホテルの往復は行きがUber[®]、帰りは普通のタクシーで、運賃はUberが40ドル、タクシーが70ドルでした。Uberのドライバーもタクシーの運転手もアフリカからの移民でしたが、印象的だったのは、Uberの運転手さんが自身も所属するUberに対して懐疑的で、むしろ勝者がすべてもっていくというビジネススタイルを否定する意見を持っていたことです。ITを活用して便利になることは、良いことですが、その負の側面にも当事者が目を向けている、そんな余裕を感じました。

基本的な権は奪うことの出来ないものと再認識

朝食会でトランプ大統領が訴えたのは、人間の権利は人によって与えられたものではなく創造主から与えられたもので、如何なる地上の権力もそれを奪うことが出来ないということでした。だからこそ、



「圧制的で残虐な政権と戦わなければならない」と、北朝鮮の問題に触れ、脱北者であるチ・スンホ氏が平和と自由を求めた祈りについても触れました。もう一人会場にいた難病を克服した9歳の女の子の話にも触れ、お医者さんが、彼女が歩けなくなるかもしれないと話をした際に、「私が出来なくなるこの話は聞きたくない。ただ、歩けるようになる様に努力させて下さい。」との発言を紹介し、小さいけれどみなこのヒーローだとして彼女を紹介していました。

違いより共通項が多い世界の人々

今回の、会合に参加して、私自身多くの方と触れ合い、改めて、世界の人は異なる点よりも、共通することの方が多くと感じ、それは特に言葉ではなく行動を通して理解できるものだと認識を深めました。

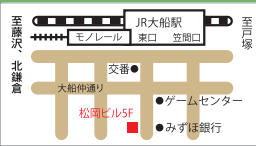
前衆議院議員 **浅尾 慶一郎**

※Uber (Uber) とは、アメリカ合衆国の企業であるUber・テクノロジーズが運営する、自動車配車ウェブサービスおよび配車アプリである。現在は世界70カ国・地域の450都市以上で展開している。特徴としては、一般的なタクシーの配車に加え、一般人が自分の空き時間と自家用車を使って他人を運ぶ仕組みの構築が挙げられる。

浅尾慶一郎事務所

〒247-0056 鎌倉市大船1-23-11 松岡大船ビル5F
TEL. 0467-47-5682 / FAX. 0467-47-5626
ホームページ <http://www.asao.net>
Eメール info@asao.net

ICONITのアプリをダウンロード下さい。
QRコードからあさお慶一郎のメッセージ動画をご覧頂けます。



特別賛助会員募集・各種イベント申込

「あさお慶一郎君を応援する会」では浅尾慶一郎の政治活動を支援する一助として「特別賛助会員」(5,000円/年)の募集を行っております。ご入会された方には、大船在住の『鎌倉大船イトウデザイン』代表伊藤ヨシノリさんがデザインを手掛けた、平成30年の干支である「戌」の「オリジナルピンバッジ」をお送りさせていただきます。



お申し込み記入欄

| | |
|--------|---|
| イベント | <input type="checkbox"/> 陽春の集い 栄区会場 |
| | <input type="checkbox"/> 第7回 あさお竹の子大会 |
| お名前 | <input type="checkbox"/> 第14回 湘南芸能同交会 発表会 |
| | <input type="checkbox"/> 学生インターン募集 |
| ご住所 | <input type="checkbox"/> 特別賛助会員 |
| | ※お申込みをされる項目に✓をしてください |
| 生年月日 | 年 月 日 |
| 電話 | |
| 携帯電話 | |
| E-mail | |

お申し込みFAX番号 0467-47-5626

各種入会・詳細に関しましては、「浅尾慶一郎事務所」ホームページ
[http://asao.net/asaokai/] 又はTEL.0467-47-5682までご連絡ください。

今月の 浅尾慶一郎 × 中森 貫太

-Interview-

対談

今回の対談は親世流能楽師シテ方 鎌倉能舞台主宰 中森貫太氏をお迎えしました。能の世界の師弟関係、修行のあり方など普段では聞けない面白いお話も伺いましたが、今回の対談では江戸時代に「能が武士の共通言語として機能した」という興味深いお話です。



この内容は「あさお慶一郎ホームページ」
http://asao.net/video/で動画でご覧いただけます。

浅尾: 江戸時代の武士が、北は青森から南は鹿児島まで方言も異なっていたのに、能を学んだことで、共通言語として方言を乗り越えたとお話ですが。

中森: はい、各藩で能を教える立場にいる能楽師が江戸か京都にあがり、そこで12年間修業し生活することになっていました。その中で方言を無くしてから地元に戻り、各藩の侍に謡を教える。徳川家が江戸では、その謡の調子で互いに会話するよう

にしたのです。それが現代日本語の共通語としての基礎になりました。

浅尾: そうすると、各藩に帰った侍は普段は地元の言葉を使っていたということですね。

中森: だと思われま。言わば「よそゆきの言葉」として能の謡を江戸城などに上がった際に使えるようにしていたと思われま。

- なか もり かん た
中森 貫太
- ▷昭和36年2月11日生まれ 鎌倉市在住
 - ▷シテ方親世流 (旧日本能楽会会員 (重要無形文化財総合指定) (能楽協会会員)
 - ▷財鎌倉能舞台業務理事
 - ▷東京芸術大学音楽学部邦楽科別科終了
 - ▷鎌倉能舞台創設者の中森品三 (重要無形文化財総合指定保持者) の長男
 - ▷(旧)親世九阜会メンバー (親世喜之師に師事)
 - ▷鎌倉ロータリークラブ会員
 - ▷慶應義塾湘南藤沢中学高等学校講師
 - ▷朝日カルチャーセンター湘南 講師 (親世流謡曲・仕舞)
 - ▷読売文化センター横浜 講師 (親世流謡曲・仕舞)

活動4

学生インターン募集 (高校生から大学生)

あさお慶一郎事務所では事務所日々の活動に加わっていただき、学生インターンを募集しています。インターンとして様々な活動を経験するだけでなく、自身で企画し、イベントの運営も行うこともできます。また大学での「政治学」授業のレベルに匹敵するあさお慶一郎自身による座学もあります。ぜひ、ご参加ください。



日時 4月29日(日)祝
11時開演(10時30分開場)

場所 横浜市栄公会堂 (横浜市栄区桂町279-129)

会費無料



活動3

第14回 湘南芸能同交会 発表会

あさお慶一郎が栄区をはじめ、鎌倉・逗子・葉山の芸能文化の継承を願って立ち上げました湘南芸能同交会。子どもから大人まで幅広く楽しめる会です。皆様、お誘い合わせの上、ご覧いただければ幸いです。

活動2

第7回 あさお竹の子大会



各所で行われてきました「陽春の集い」、それぞれの会場で多くの方々のご参加をいただいています。今回は締めくくりに会になります。是非、お越しください。

日時 4月1日(日)
17時00分~18時30分
会費 3,000円
場所 あすぶらさーメルヘン (栄区小菅ヶ谷1-2-1)



日時 4月22日(日)
11時30分~14時30分
会費 2,500円
場所 鎌倉市福祉センター2階 (鎌倉市御成町20-21)

2011年東日本大震災の後、被災地で頑張る若者を応援しようとの趣旨であさお慶一郎を中心としたボランティアの皆さんが開催するイベントです。竹の子がすくすくと育つように、震災の年に生まれた子ども達も大人になる20回まで(今年で7回目)の開催を目標にしています(収益を被災地の若者、支援団体に寄附しています)。旬を迎える鎌倉産の竹の子と鎌倉野菜をメイン・レシピとするお料理を楽しむ懇親会。「とても美味しい!」と毎年好評です。ご参加いただけましたら幸いです。